

# 歴史ウォーキング

history

## 道明寺天満宮

菅原道真

菅原道真といえば!梅の伝説ですよね。道真是梅の花を好み、邸内に沢山の梅を植えていたので、邸宅は「紅梅殿」とも呼ばれていました。都落ちの時を迎えて、道真是紅梅との別れを惜しみました。そんな主人の心を感じた梅が、一夜にして大宰府まで飛んでいき、根を下ろしたとか。飛んだのは紅梅でしたが、代替わりを経て、現在大宰府天満宮境内にある紅梅は白梅になっているそうです。



平安時代、土師寺には菅原道真のおばに当たる覺寿尼が住んでおり、道真も時々この寺を訪れ、この寺のことを「第二の故郷」として度々滞在しました。道真が無実の罪で大宰府に左遷される時、道明寺へ立ち寄る事を許され、道真はここで覺寿尼公と別れを惜しまれ、自像を木に彫られました。その時に使われた刀は国宝として残っています。天暦元年(947年)、自像の木像と遺品をご神宝として道明寺になり、後戦火に遭うも、織田・豊臣・徳川・皇室と代々の心仰により維持されてきました。また境内には80種800本の梅の木があり、高い場所から一望できるように橋も架かっています。道真が大宰府に左遷され、そのまま都に帰ることなく没すると、やがて都を中心として天災や疫病が続発します。道真的怒りがもたらしたのだということから、その靈が947年に京都の北野に天神として祀られました。これが天神信仰の始まりです。伝えでは、この時に土師氏(後の菅原氏)の出身であり、道真的おば・覺寿尼の住む道明寺に天神(道真)を祀ったのが天満宮の起りだといわれています。

### ●コメント●

道明寺天満宮は数少ない尼寺です。道真的記述・伝説は沢山残っています。聖徳太子同様、色々ロマンティックな伝説が残っており、梅の伝説は、私は特に好きです。又、道明寺天満宮には小林一茶が残した句牌もあり、歴史適にも有名な天満宮である事が分かります。

## 語道

雛人形とは…雛祭りに飾る人形のことです。内裏雛・三人官女・五人囃子・隨身(ずいしん)・衛士(えじ)などを一組とすることが多いそうです。由来は…雛人形の「ひな」は「ひよこ」との関連から「小さい」や「愛らしい」といった意味でついた呼称で、ひなを模ったとこからついたものではない。雛人形は、穢れ(けがれ)や災いを移して流す「人形(ひながた)」が起源とされ、平安時代に始まった。当時の雛人形は、紙や土で作った立ち雛で、座り雛になったのは室町期頃からである。三月三日の桃の節句に雛人形を飾るようになったのは、江戸時代以降のことである

### オール電化イベント

オール電化機器の良さを、実際に見て触れていただけるイベントをたくさんご用意して皆さまをお待ちしております。

お問い合わせは当社へ

開催日 4日(火),11日(火),25日(火),29日(日)  
レシピ 精進揚げ・ゆで卵とひき肉の甘辛煮・桜餅etc...  
時間 10:30~13:30  
締切 定員になり次第締め切りとさせていただきます。  
参加費 1000円(税込み) 無料



当社へお声をかけて頂ければ、  
無料招待状をお渡しいたします。  
興味がある方は、一度ご連絡ください。  
その他、イベントも盛り沢山!  
IHを体験してください♪

お家のお手入れは「家」を長持ちさせる最大のコツです♪

今回はお家の中の機器類についてです。機器といつても沢山あります。給湯器、システムキッチン、エアコンなど…中でも多いのが冬場の給湯器の故障ですね。何故か祝日や祝日前に故障するんですね。偶然なのでしょうが、修理が一日遅れても毎日使うお風呂やお湯は使えない大変困りますね。私たちも修理の依頼を速やかにしていただけるようにA-kaのサービスと連携しながら体制を整えてはいるものの、祝日や連休が重なるとパニックになります。機器の寿命は約10年といわれておりますが7~8年で修理が必要な場合もあり、修理してもまた何年かすると修理が必要になります。それに費用も数万円掛かるので取替えのご提案をさせていただいております。とは言っても取替えの商品の手配に数日掛かるのでどちらにしてもお客様にはご迷惑は掛かってしまいます。そこで提案なのですが、動かなくなる前に必ず前兆がありますから、「ちょっとおかしいな?」とか「なんだか変だな?」と感じたら直ぐに専門家(当社は家の事なら何でも受け付けます)にご相談下さい。そして万が一の為の日頃の点検を依頼していただいて構いません。機器などは年に一度の点検で急な故障を未然に防ぐ事も出来ます。簡単に出来る点検方法は次の通りです。

- ①給湯器は電源を切ってから(コンセントも抜いて)表面のカバーネジで外れますのでカバーを空けてほこりや蜘蛛の巣を刷毛で払う。
  - ②ガスコンロは点火ボタンの先の油かすやレバーワークの動き具合を調べ時々アラシで掃除する。
  - ③換気扇は異音がしないかどうか点検する。
  - ④水道の蛇口などは水漏れがないかしまり具合が良いか点検する。
  - ⑤建具類は動きがスムーズか、開閉の時にキキ音がしないかなどを調べ、年に一度くらいは油を差す。
  - ⑥窓などはちゃんと鍵が掛かるか、重たくないかなどを調べ、年に一度くらいは油を差す。
  - ⑦エアコンはフィルターの清掃を(年に2度くらい)し3年~5年に一度は内部のクリーニングをお薦めします。
- 日頃の点検整備が機器を長持ちさせ、しいては快適な暮らしを持続させるコツです。

## 社長のつぶやき

もう3月ですね。ひな祭りの月ですね。と言っても暗いニュースや景気の先行きに不安が残る今日この頃でございます。「清徳丸」の事故や道路特定財源の問題、アメリカのサプライズの問題に日本の景気も揺らいでいます。いつになつたら明るいニュースが出てくるのかと心配な日々が続きますね。片方では金貨が何千万円で落札されたり、高級品の売れ行きは好調のようです。就職難や賃金の引き上げ要求さらには生活保護を受けておられる方々の台所を直撃するような補助金の打ち切りや削減とあらゆる所で格差が広がっているように思うのは私だけでしょうか? 政治は自分達の名聲の為に相手を非難することばかりの毎日で一向に前に進まないようにも見えます。早く決着をつけて次のステップに進まないといつまで経ってもこのまま…「福田さんはやく何とかしてください!」と言いたくなります。お役人の体質もいつまで経っても変わらず国民の血税を無駄に使って自分達の地位だけを守ろうとばかり考えているように見えます。大阪の知事さんも「橋下」さんに代わり一気に補助金の削減や助成金の削減を打ち出して議会はおろか各関係者の話によれば「とんでもないことをやろうとしているし、前が見えていないのでは?」「アレでは府下の市民の為ではなく自分の所の台所事情を立て直すことだけを考えているからもたないのでは?」と不満の声を漏らしていました。そこで私は言いたい!「知事になって内部事情を熟慮して、それから無駄な所は削っても遅くはないのでは?」「決断は早い方が良い」しかし何かを中断したり計画を変更するにはもっと時間を取ったほうが良いのでは?...と。決して楽にならない生活の中で一生懸命税金を納めている国民の税金の使い道を自分達の都合のいいように使わないで、やるんだったら自分自身を切って先頭に立って効果的に動いていただきたい(宮崎県知事のように...)。

今回はボヤキで終わってしまいそうですが次回は明るいニュースの話題を取り上げたいと思います。

## 子育て世代応援住宅 株式会社 寺本工務店

代表取締役 寺本光雄

大阪府富田林市北大伴町1丁目3-14

TEL 0721-25-1893 FAX 0721-25-1896